

真偽問題 正しいものは①を、正しくないものは②をマークしなさい。  
①、②以外を塗り潰すと誤答になります。

- 問(1) 1点ハ音は、ピアノの鍵盤で52Cに当たる。
- 問(2) 完全4度は、半音5個分の音程である。
- 問(3) 同じ音を主音にした長調と短調を、同主調という。
- 問(4) ショパン国際ピアノコンクールは、4年に1度ポーランドのワルシャワで開催される。
- 問(5) 音は、障害物があるとその裏側に回り込む性質がある。
- 問(6) ピアノの錆やカビは、乾燥した冬季にも発生する。
- 問(7) チューニングピンはトルクを維持するため、複数の螺旋状の溝が切られている。
- 問(8) ピアノの張力を支えるものはフレームであると言える。
- 問(9) 1A-88Cにおいて、C音の白鍵上面材の形状は全て同じである。
- 問(10) アップライトピアノのソフトペダル効果は、音量は小さくなるが音質は変わらない。
- 問(11) 音叉は、温度変化によりピッチが変化するので取扱いに注意する。
- 問(12) ピタゴラスコンマは、22セントである。
- 問(13) 低音部の調律検査音程として、長3度と短6度の比較が行われる。
- 問(14) 平均律割り振りで、33F-38A $\sharp$  と 38A $\sharp$ -45F の唸りが 2 : 1 であれば、オクターブは正しい。
- 問(15) オクターブ完全5度の音程比は1 : 3である。
- 問(16) アップライトピアノのダンパー総上げは、スプーン掛けの後に調整する。
- 問(17) マフラーの調整は、マフラーペダルを掛けた状態で、ハンマーがマフラーフェルトの下から1/2を打つようにする。
- 問(18) から直し（ロストモーション調整）を行うと、ハンマーストップ（バックストップ）が変化する。
- 問(19) ハンマー接近（レットオフ）の調整は、スプーン掛けに影響しない。
- 問(20) グランドピアノで、ハンマー接近（レットオフ）を変更すると、ハンマー戻り（ドロップ）が変化する。
- 問(21) 最高音で使用するミュージックワイヤーの番手は、13番である。
- 問(22) アルミ製のレールで、ネジが緩くなった場合、オーバーサイズのネジに交換する。
- 問(23) ダンパーレバークロスの貼り替えは、スプーンとロッドが当たる部分は接着しない。
- 問(24) アップライトピアノのハンマースティックは、バットプレートスクリューを緩めて直す。
- 問(25) 消音ピアノを消音状態にしてもハンマーが弦を打つ場合は、ハンマーの動きを止める位置調整が適切でない。

多肢択一（3択）問題

各問から、適切なものを1つ選びなさい。2つ以上選ぶと誤答になります。

問(26) ハ短調の説明として、正しいものを1つ選べ。

1. 調号は、#4つである。
2. 平行調は、ニ長調である。
3. 属音は、Gである。

問(27) 次の記述の中から、正しくないものを1つ選べ。

1. ピアノ協奏曲「戴冠式」は、J.ブラームスの作曲である。
2. ピアノ協奏曲「皇帝」は、L.v.ベートーヴェンの作曲である。
3. 「G線上のアリア」は、J.S.バッハの作曲である。

問(28) 音波の説明として、正しいものを1つ選べ。

1. 音速は、空気中では一定とは限らない。
2. 音波の振幅は、音の高低に関係する。
3. 音波の波長は、音の強弱に関係する。

問(29) ピアノの発達史で、ブロードウツのペダル特許に関する年を1つ選べ。

1. 1770年
2. 1783年
3. 1791年

問(30) ピアノの手入れ・使用環境について、記述内容が最も適切なものを1つ選べ。

1. 常温では、湿度が50～70%が最適である。
2. ピアノにとって最適な暖房は、床暖房である。
3. アクリル樹脂製の白鍵の消毒は、アルコールを使用する。

問(31) ピアノの弦について、正しいものを1つ選べ。

1. ミュージックワイヤーの太さは番手で表示され、17番は1.000mmである。
2. 最高音の有効弦長は、およそ30mmである。
3. 素材は炭素鋼である。

問(32) 響板について、正しいものを1つ選べ。

1. 弾力性に富み、比重の大きい樹種が用いられている。
2. 柀目になるように木取りする。
3. 厚みを変えることにより、反り（クラウン）が生まれる。

問(33) グランドピアノのソフト（シフト）ペダルについて、正しいものを1つ選べ。

1. 音色は変えられるが、音量は変えられない。
2. ペダルを踏むと同時に鍵盤箆がすぐ動く（遊びゼロ）ように調整する。
3. シフト量は、突き上げ棒上端のナットで調整する。

問(34) 黒塗りのピアノの塗料として、今日最も一般的に用いられるものを1つ選べ。

1. 漆
2. ラッカー
3. ポリエステル

問(35) セント法について、正しいものを1つ選べ。

1. 純正の長2度は、316セントである。
2. 1オクターブは、1200セントである。
3. セント法は、ジルベルマンによって考案された。

- 問(36) 平均律と純正の音程について、正しいものを1つ選べ。
1. 平均律完全5度は、純正完全5度より2セント広い。
  2. 平均律長3度は、純正長3度より14セント広い。
  3. 平均律短3度は、純正短3度より14セント狭い。
- 問(37) 平均律割り振りについて、正しいものを1つ選べ。(基音は37A。音域は、33F～45Fとする。)
1. 37A-41C#の唸りが基準より少ない場合、37Aは高めにずれている。
  2. 37A-42Dの唸りが基準より少ない場合、42Dは高めにずれている。
  3. 33F-37Aの唸りが基準より少ない場合、33Fは高めにずれている。
- 問(38) 調律カーブについて、正しいものを1つ選べ。
1. 一般に、大型のピアノの方が小型のピアノより、カーブが緩やかである。
  2. 低音部の方が、中音部よりカーブが緩やかである。
  3. 低音部は理論値より高く、高音部は理論値より低くなる。
- 問(39) 倍音の説明として、正しいものを1つ選べ。
1. 基音に対して長3度の関係の倍音は、4.5倍音である。
  2. 5倍音は、基音に対し完全5度の関係となる。
  3. 8倍音は、基音に対し3オクターブの関係となる。
- 問(40) ハンマー接近(レットオフ)の調整として、最も適切なものを1つ選べ。
1. ハンマー接近(レットオフ)は、鍵盤の深さ(あがき)が深いと調整できないことがある。
  2. グランドピアノのハンマー戻り(ドロップ)を変更しても、ハンマー接近(レットオフ)は変化しない。
  3. 低音から高音まで、均一の1mmの調整寸法である。
- 問(41) アクションの整調工程として、最も関連が深いものを1つ選べ。
1. 鍵盤深さ(あがき)とハンマー接近(レットオフ)
  2. 鍵盤深さ(あがき)とハンマーストップ(バックストップ)
  3. ハンマー接近(レットオフ)とハンマーストップ(バックストップ)
- 問(42) アップライトピアノのアクションの働きを大きくする方法として正しいものを1つ選べ。
1. ハンマーストップ(バックストップ)を広くする。
  2. 打弦距離(ハンマーストローク)を広くする。
  3. ハンマー接近(レットオフ)を広くする。
- 問(43) アップライトピアノのから直し(ロストモーション調整)の工程で確認する隙間について正しいものを、別掲の図(5ページ)を参照して1つ選べ。
1. ①及び②の隙間
  2. ①及び③の隙間
  3. ②及び③の隙間
- 問(44) タッチについて、正しいものを1つ選べ。
1. ダンパー止音は、鍵盤の深さを約1/2戻した位置である。
  2. グランドピアノの同音連打性能は、アップライトピアノの約1.5倍である。
  3. 鍵盤の深さ(あがき)は、どのピアノでもおよそ12mmに調整する。
- 問(45) 断線修理に関する記述として、正しいものを1つ選べ。
1. 断線は、弦の不良ないし錆であるため、弦を交換すれば切れなくなる。
  2. 断線を繰り返す場合は、半番手細い弦を張ると切れなくなる。
  3. 断線の主原因は、弦の金属疲労である。
- 問(46) 断線修理について、最も適切なものを1つ選べ。
1. 打ち下ろしは、ピンの孔が1/3見えるようにする。
  2. 弦の引き上げは、打ち下ろしの後に行う。
  3. チッピングの後に、弦しごきを行う。

- 問(47) アップライトピアノのハンマーシャンク交換に関する記述として、適切でないものを1つ選べ。
1. ハンマーヘッドも交換する。
  2. キャッチャーの高さも揃えるようにする。
  3. シャンクの木目の向きにも留意する。
- 問(48) センターピン交換の方法で、正しいものを1つ選べ。
1. ゆるめのピンの方が、木部が割れないので良い。
  2. バットプレートはセンターピンを固定している。
  3. センターピンのカットはフレンジの幅より少し短くする。
- 問(49) アップライトピアノのアクション部品の貼り替えに際し、全面に接着剤を付けるものを1つ選べ。
1. バットフェルト
  2. バットスキン
  3. キャッチャースキン
- 問(50) 消音型のアップライトピアノの点検・調整方法として、正しいものを1つ選べ。
1. 調律時には、必ず消音状態で、ヘッドフォンで電子音の発音とペダルの効果を確認する。
  2. 生ピアノの調整以外は、特に指摘がない場合は触らない。
  3. ハンマー接近（レットオフ）が広がっているので、鍵盤深さ（あがき）は浅めにする。

問(43)、別掲の図

